



発行所 木崎地区まちづくり委員会 発行人 海野 藤男

第 15 号



木崎ふれあいまつり2018

第3回ふれあいまつりが、11月18日(日)交流センターで開催されました。秋晴れのもと門部ひよつとこ踊り保存会の演奏を皮切りに開会、各自治会の趣向を凝らした催しが会場狭しと展開されました。手打ち蕎麦の試食会、地元野菜や焼き芋の販売、鮎の塩焼き、金魚すくい、綿菓子、甘酒等に人だかり、輪投げやサッカーターゲットボウリングには子供たちの列が絶えません。麦湯を懐かしうたてお年寄りたち、幸せそうな笑顔でいっぱいでした。

一方では、子供たちによる樽神輿、手作り神輿が会場を練り歩き、ミニ上棟式では縁起物のまき餅やまき菓子を歓声があがりました。

また、多目的ホールでは、地域有志の趣味を生かした多種多彩な作品が展示され、市民協働課による「街・カフェ」の香り高いコーヒーと茶菓子を舌鼓しながら作品を眺め楽しそうでした。

このまつりをおして、地域のつながりが益々深まり、皆で楽しむことも出来、有意義な一日になりました。

受賞おめでとう

門部鹿島環境保全会

「花と緑の環境美化コンクール」で県知事賞受賞
当保全会は、花いっぱい運動のひとつとして、門部鹿島地区花壇への花移植栽培活動を通して、地域の景観環境向上に取り組んできました。年間を通して地域に根ざした運動を進めてきた結果、団体の部で県知事賞に輝きました。



花壇には四季折々の美しい花が咲き誇り、住民の心を和ませてくれます。
今後、2019年から2022年までモデル指定花壇として、運動の普及や花によるおもてなしに取り組んでいく予定です。



いきいきサロンつくし会

『那珂市表彰式典』善行表彰の部で表彰

当会は、会員相互の親睦・体力の維持・安否確認と引きこもり予防を目的として平成20年に設立されました。毎月2回、シルバー体操指導者の指導を受けながら楽しく活動を行い、健康増進や高齢者医療抑制に繋がっています。

また、年2〜3回はリフレッシュと親睦を兼ねて、木崎地区近郊の小旅行も実施しています。更に、自治会の行事では、参加者への食事を作る等、裏方としても地区を支え貢献しています。



編集後記

今年の4月30日に天皇陛下が退位され、5月1日に皇太子さまが即位、改元されます。

何かと話題になつてる平成最後の情報誌として木崎だよりを発行出来る事、大変光栄に思います。

2年間、発行にご協力頂きました皆様、そして編集委員の方々に感謝いたします。ありがとうございました。

編集委員長

会沢 功(下河原自治会)

編集委員

大久保れい子(青少年相談員)

照沼 忠(青少年相談員)

仲田 幸男

(木崎小学校区子ども会育成連絡協議会副会長)

澤幡 武見(木崎小学校PTA)

稲田美代子(那珂第三中学校PTA)

お願い

交流センターの利用時間は午前9時から午後5時迄です。

駐車場(南側臨時駐車場含む)をご利用の際は、事前に事務局へご連絡願います。

【電話・FAX】

029(2998)0767



◎歴史探訪教室
今年も講師に会澤義雄先生をお招きし、3回開催しました。
初回は、「水戸藩主 徳川頼房」、2回目は、「木崎地域の寺社と寺社改革」をテーマに受講しました。

各部会報告

◎歴史探訪教室

3回目は、皆さん楽しみにしていた移動教室です。10月22日(月)に28名が参加して、泉岳寺、赤坂迎賓館、清澄庭園などを見学しました。
また、新橋駅前の第一ホテル東京にて食事をして、楽しく充実した一日になりました。

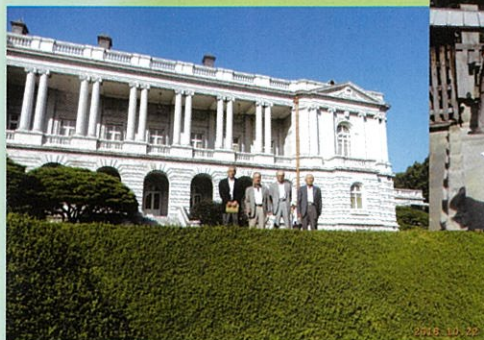
◎そば打ち体験教室

12月2日(日)に門部台農村集落センターにおいて、21名が参加してそば打ち体験教室が開催されました。
体験の前に講師から実技講義を受け、参加者が「こねる・延す・切る」まで行いました。
初めて参加された方は、麺棒を使用しての延しに苦労していましたが、講師の分かり易い説明を受けおいしくできました。
最後に具のたくさん入ったけんちゃんそばをごちそうになり、大盛況のなか終了しました。

◎家族健康教室

2月28日(木)、内宿農村集落センターにおいて開催し、24名の参加がありました。
講師にナザレ園の理学療法士、伊藤武弘先生をお迎えして、「65歳からの健康づくりと介護予防」をテーマに講義を行っていただきました。
初めに、介護予防が必要とされる時代背景等についてお話を聞き、その後、男女ともに体の不調の訴えが多い「腰痛」を予防するための筋トレについて、実技を交えて教えていただきました。
住み慣れた家で暮らし続けるためには、普段から社会の動きや自分の体に関心を持つことが大切とのことでした。

赤坂迎賓館



泉岳寺



木崎ふれあいまつり 2018



ふれあいまつり

鹿島自治会
野菜販売白河内自治会
米俵は何kgかな 野菜販売
とん汁 子どもみこし門部台自治会
けんちゃんそば 輪なげ
ロープブランコ門部台自治会
金魚すくい アユの塩焼下河原自治会
模型電車 むぎ湯北酒出自治会
綿あめ ポップコーン販売肉宿自治会
昔の遊び みそ田楽新宿自治会
甘酒



優勝 新宿自治会Aチーム
準優勝 白河内自治会Aチーム
第3位 門部坏自治会
第3位 北酒出自治会

体育部会

◎第59回秋季親善球技大会

ソフトバレーボールの部は、9月30日(日)那珂総合公園アリーナで行われ、決勝で新宿自治会Aが白河内自治会Aを下しての優勝となりました。



◎第6回ティーボール教室
7月22日(日)、木崎グラウンドにおいて17名が参加して開催されました。初めに基本的なルールの説明を受け、その後実技を通して「打つ」、「捕る」、「投げる」、「走る」を楽しむことが出来ました。

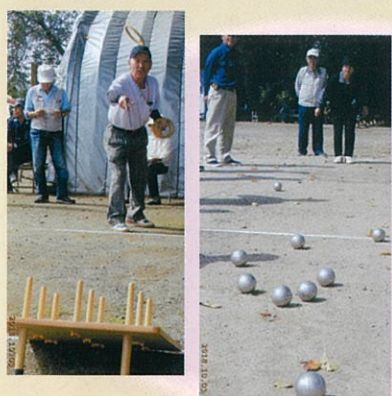
優勝 鹿島自治会
準優勝 白河内自治会
第3位 内宿自治会

ソフトボールの部は、雨天のため延期、10月14日(日)ふれあいの杜公園にて行われました。決勝では、鹿島自治会が白河内自治会に9対0で圧勝し、優勝となりました。

◎高齢者クラブ対抗親善スポーツ大会

大会は、10月3日(水)、木崎グラウンドで、初参加の酒出クラブと鹿白会、高砂会の会員47名が参加して行われました。

競技は、輪投げ、ペタンク、クロッケーの3種類で行われ、輪投げの部は鹿白会B、ペタンクの部は鹿白会B、クロッケーの部は高砂会Bが、それぞれ優勝しました。



優勝 堀口守男さん
準優勝 会沢孝雄さん
第3位 金子茂さん

◎第7回グラウンドゴルフ大会
大会は、10月21日(日)、木崎グラウンドで、木崎グラウンドゴルフ愛好会のご協力を得て38名の参加者のもと開催され、日ごろの練習の成果を競い合い、お互い親睦を深め合うことができました。

福祉・防犯・環境部会

◎平成30年度敬老会

9月20日(木)なか健康センターで敬老会が開催されました。今年の出席者は137人(該当者480人)、出席率は28・5%で昨年を少し下回りました。

第一部の式典では、米寿を迎えられた方々(該当者は17名)に対して、海野市長から記念品が贈呈されました。受け取られた方々の喜びに満ちた笑顔が印象的でした。代表して田口正美様(門部坏)が謝辞を述べられました。

第二部のアトラクションでは、地域で活躍している方々による舞踊や民謡、演奏などが披露され、出席者の皆様への長寿と健康をお祝いしました。

参加された方々は久しぶりの再会に話も弾み、顔見知りのアトラクション出演者に大



きな拍手を送る等、楽しいひとときを過ごされていました。

なお、式典に出席できなかった方々へは記念のタオルを配付し、これまでの功労に敬意を表しました。

31年度は、9月12日(木)に開催予定です。

まちづくり委員会では、できるだけ多くの方々に参加していただけるよう工夫を重ねてまいりたいと思います。皆様のご参加をお待ちしております。



◎一人暮らし高齢者配食サービス
12月22日(土)と2月17日(日)の年2回、地区内の一入暮らし高齢者の方に、作りたてのお弁当を届けました。食材の調達と調理は地区の食生活改善推進員に、配達は民生・児童委員にそれぞれご協力をいただきました。

食材の吟味やメニューに工夫を凝らしながら、男性も厨房に入り奮闘しました。

心のこもった『木崎オリジナル弁当』は大好評でした。

- ☆第2回お弁当の献立☆
- ・厚揚げの酢豚風
- ・切り干し大根炒め煮
- ・さつまいものサラダ
- ・切り漬け
- ・果物(イチゴ)



◎地域学校連携防災事業
9月7日(金)、木崎小学校において、茨城県沖を震源とする震度6の大地震を想定した避難訓練の様子を見学しました。

その後、体育館に移動し、消防署員(救命士)による「救命入門コース」の講義を受けました。そして、胸部圧迫の正しいやり方やAEDの正しい装着の仕方・操作方法について、各自が体験をしました。

参加者は、応急処置の重要性や正確で的確な対応方法、周囲の方々との連携の大切さを学ぶことができました。

学をする前にくつの裏をきれいにしたり、エアシャワーをあびたり、手を洗って消毒したり、服にコロコロをしたりして衛生管理をしているんだなと思いました。色んな事を学べてよかったです。

一つは、災害が起きたときの行動についてです。防災館に行ったら、台風や地震、火災の行動について学べてよかったです。

二つは、小山工場の清潔さです。小山工場に行ったとき、きれいな服にローラーをするほど清潔に行なっている事がすごかったです。

災害がおきたらどう行動するか、おかしを作る時の清潔さについて学べてよかったです。

栃木県にある防災館と森永製菓工場見学に行きました。防災館では、普段体験出来ない強風や強い地震などの疑似体験をしました。災害時の心構えを再確認できる良い機会になりました。

お菓子工場ではおなじみのお菓子が出来るまでの歴史を勉強したり、製造工程をみる事が出来てもっとお菓子が好きになりました。

親子遠足は学校の行事で行った遠足とは違う楽しさがあり良い思い出になりました。

卒業前、大好きな友達と参加した親子移動教室では、いっぱい楽しい思い出ができました。

一つ目は、防災館です。大雨の体験や地しんの体験をしました。すこしこわかったけ

れどとても良い体験ができました。

二つ目は、森永製菓小山工場に行きました。たくさんのおかしを作っている場所を見て楽しかったです。最後におみやげをもらえてとてもうれしかったです。

私は、この移動教室で一番印象に残ったことは、地震体験です。

震度一から七の揺れが休みなく起こる部屋の中は、どこかのアトラクションみたいでした。でもそれよりも、私は幼稚園の時に東日本大震災を経験しているので、その時の記憶が少しだけよみがえってきました。

また、本当にこんなゆれが



きたら怖いと思います。だから、今日教えてもらったことを忘れずに、災害にあった時に生かしたいと思います。

木崎小六年生親子移動教室

父母企画役員代表 永山佳代子

今年度の親子移動教室を企画するにあたり、体験を含み、且つ今後の生活に役立つような学びの場となるような行き先を、役員一同で検討し、計画を立てました。

防災館では、大風・大雨・煙・地震等起こりうる災害の疑似体験により、災害の恐ろしさを改めて認識し防災意識が更に深まりました。

森永製菓工場では、普段よく目にしているお菓子の製造には、想像以上の衛生管理の下一つ一つがすべての行程によつて出来るさまを見学する事ができました。

今回の体験・見学は子供達、又、私達親にとって大変貴重な経験になったと思います。



高畑莉美

親子移動教室で、栃木県防災館と小山工場へ行きました。

栃木防災館では、四つの災害の体験をしました。実際におきたらどのようにして自分の身を守るか知ることがで

きてよかったです。

小山工場では、普段食べているチョコボールやキャラメルなどの作り方を説明してくださいました。普通に食べていたものがちゃんと工夫されていてすごいと思いました。

仲田 葵

11月13日に親子移動教室に参加しました。最初に栃木県防災館に行きました。煙体験や大風体験、地震や大雨までの幅広い自然災害の体験ができました。学校ではできないような体験まで出来てとても良かったです。

他にも森永製菓小山工場も行きました。自分の好きなお菓子のひみつやお菓子が出来るまでなどがわかってとても勉強になりました。

みなさんとお母さん方と卒業前の楽しい思い出を作ることができました。

五島 一斗

親子移動教室に参加して心に残っている事が、まず防災館で大風、大雨、煙、地震を体験した事です。七年前の東日本大震災は体験した記憶は残っていないけど、自然災害のこわさを体験する事が出来て良かったです。

もう一つは、森永製菓工場に行つて出来るまでに何工程もあつて、菌が入らないように安全に守られて作られているんだなと思いました。金のエンゼルが出るまで頑張つて買いたいです。

会沢 優花

私達六年生とお母さんの三十名は、11月13日の県民の日に、栃木県の防災館と森永製菓小山工場を見学してきました。防災館では地しんやけむり体験などをして、非常ゆう導灯の説明を聞きました。森永製菓小山工場では、見